発信日：2026 年 5 月 15 日

《福岡県外国人技能実習生受入組合連絡協議会》　情報通信　第 293 号

今回のテーマ「麻しん（はしか）の感染拡大防止について」について

厚生労働省より「麻しん（はしか）の感染拡大防止について」お知らせです。外国人技能実習機構 HP をご覧ください。
https://www.otit.go.jp/

【厚生労働省】麻しん（はしか）の感染拡大防止について

監理団体・実習実施者の皆様へ

平素より外国人の技能実習の適正な実施について、ご理解・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
麻しん（はしか）の感染拡大防止について、厚生労働省から以下のとおりお知らせがありましたので、ご留意いただくとともに、傘下の実習実施者に対して周知いただきますようお願いいたします。

重症になりやすく、感染力が極めて高い麻しん（はしか）が、2020年以降最多となるペースで感染拡大しています。麻しん（はしか）は、マスクや手洗いでは感染予防として十分ではなく、ワクチンが重要です。
麻しん（はしか）は、「かかってもたいしたことはない」感染症ではなく、肺炎・脳炎・腸炎などで重症化することも多く、先進国でも重症化することもあり、1,000人に1人死亡するとされている感染症です。
技能実習生が安心して実習に専念できる環境を確保するため、監理団体の皆様におかれましては、実習実施者に対しての感染拡大防止の内容及び技能実習生への周知徹底について、改めてご確認・ご対応いただきますようお願いいたします。

麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ

○ 重症になりやすく、感染力が極めて高い麻しん（はしか）が、2020年以降最多となるペースで感染拡大しています。麻しん（はしか）は、マスクや手洗いでは感染予防として十分ではなく、ワクチンが重要です。**麻しん（はしか）は、「かかってもたいしたことはない」感染症ではなく、肺炎・脳炎・腸炎などで重症化することも多く、先進国でも重症化することもあり、1,000人に１人死亡するとされている感染症**です。更なる感染拡大防止のため、以下の事項について、ご協力をお願いいたします。

＜麻しん（はしか）を疑う症状がある場合の対応＞
○ **麻しんを疑う症状がある場合は、外出を控える**とともに、**受診する場合には、事前に医療機関に連絡の上、**医療機関の**指示に従ってご対応いただく**ようお願いいたします。
○ 感染拡大防止のため、受診の際には、**公共交通機関の利用を可能な限り避ける**ことについて、ご協力をお願いいたします。

＜自治体の疫学調査へのご協力＞
○ 麻しん（はしか）の感染拡大防止には、**患者や接触者に対する行政による調査が重要**です。ご協力をお願いいたします。

＜ワクチン接種のご検討＞
○ ご自身の発症予防、重症化予防、集団としての感染拡大防止の観点から、ワクチンは２回接種することが重要です。
○ お子様が麻しん・風しんワクチンの**定期接種の対象である1歳又は就学前1年間**にある場合、**積極的に早期の接種をご検討**ください。
○ 海外では大きな流行が複数の国で報告されています。接種が不十分な場合、**渡航の２週間前までに接種することをご検討**ください。
○ **2000年4月1日以前に生まれた方は、当時の感染状況もあり、２回の定期接種が行われていない可能性があります。**母子健康手帳等で、過去の麻しんの罹患歴又は２回の接種記録を確認できない方は、今一度、**麻しん・風しんワクチンの接種をご検討**ください。
なお、今回の流行は**10代～40代の方を中心に流行している**ことも踏まえ、特にこの年齢層の方はご検討をお願いいたします。

＜特にご注意いただきたい方々＞
○ 特に、以下の方々は、接種が不十分な場合、ワクチンの接種をご検討ください。
・ 保育園や学校職員、医療機関職員など、小さいお子さんや患者さんと接触する機会の多い方
・ 空港職員、観光業スタッフなど渡航者と接触する機会の多い方
○ また、以下の方々は、感染すると重症化すると言われていますのでご注意ください。
・ 妊娠中は麻しん風しんワクチンの接種はできません。早産や流産のリスクがあるため、妊娠前の接種をご検討ください。
・ 免疫不全のある方は、主治医の方と相談のうえ、麻しん風しんワクチン接種をご検討ください。
・ 乳幼児は、肺炎や脳炎を起こすリスクがありますので、ご家族の接種歴をご確認ください。